

生粋の 無所属 無党派

子育て経験と生活者実感を議会へ

たけうち 竹内 さちえ

政治は生活

あなたと創る、生きごこちのよいまち

- 子どもは未来、子どものことからはじめよう
- 未来にツケを残さない、責任ある市政を
- 市民とともにつくる、対話の市政を

頒布責任者:竹内雅之／松戸市小金原7-33-45　印刷者:株式会社メリエスト／東京都文京区水道2-12-13

知ってほしいこと、まだあります。
公式HP・SNSはこちら

政治は生活

政治思想の右↔左よりも、はるか手前に「日々の生活」というど真ん中があります。

昨年6月の補欠選挙で当選させていただいてから、子育て中の生活者としての視点を議会に持ち込むこと、そして政党無所属だからこそ、思想信条や党派の垣根を越えて議論することをモットーに活動してきました。

今を生きる人も幸せに。未来を生きる人も幸せに。

そんな政治を実現するため、これからも生活の中にある声を政策につなぎ、皆さまとともに「生きごこちのよいまち」を創ってまいります。

竹内　さちえ

竹内さちえプロフィール

学歴・職歴・松戸歴

1974年1月、神奈川県横浜市生まれ。
神奈川県立光陵高等学校、白百合女子大学文学部児童文化学科卒業後、九州石油株式会社(現ENEOS)入社。出産を機に退職。
松戸歴26年。馬橋での一人暮らしを経て、現在は家族5人で**小金原**在住。

いろいろな立場を経験

高3・中3・中1、**3人の子どもの母。**
これまでに正社員、専業主婦、パート、派遣社員と、**様々な働き方と暮らし**を経験。

はじまりは、子育てでした

子育てをきっかけに、すべての子どもたちが幸せに暮らせる社会を考えるように。

地方自治を学び、議会傍聴や市民との対話を重ね、昨年6月、市長選と同時に行われた市議会議員補欠選挙(定数1名)で初当選。

生粋の無所属・無党派

しがらみゼロの、まっさらな生活者視点に立ち続けるために。政党や組織ではなく、**松戸に暮らす皆さまの声を原点に**市政に向き合っています。






参加団体・地域活動

保坂展人政治スクール／LIN-Net(Local Initiative Network)／学びの多様化地方議員連盟／香害をなくす議員の会／未来をソウゾウする政治プロジェクト／子どもと人権プラットフォーム／児相と親子の架け橋千葉の会／みどり千葉市民自治の会／戦争をさせない1,000人委員会松戸／松戸 子育て・孫育て 教育懇談会／まつど女性会議／小金原子どもまつり実行委員会／こがねはらこども食堂、ほか

竹内さちえ基本姿勢「あなたと創る、生きごこちのよいまち」

皆さまとの対話が、私の政策の出発点です。生活の中にある「なんで？」から、まちの課題が見えてきます。あなたの声を聴かせてください。



聴く　気軽にご相談いただける懇談会を開催
行動する　皆さまの声を市政に反映
報告する　SNS発信／報告会を開催

市内各所で随時「まちのおしゃべり会」開催60回を突破

竹内さちえ事務所　松戸市小金原 7-33-45　080-8057-3855　takeuchisachie.matsudo@gmail.com

★2期目を目指す決意＆補欠選挙当選から約１年半の実績

竹内さちえ 3つの視点 とこれまでの あゆみ



① 子どもは未来、子どものことからはじめよう

子どもの権利を、すべての政策の真ん中に



すべての子どもの権利が保障されるまちへ。**共働き子育てしやすいまち**から**「子どもがいきいき育つまち」**を目指します。

これまでのあゆみと達成状況

20%

「子どもの権利に関する条例」の制定を提案。制定に向けたプロセスを具体化するため、引き続き行動していきます。

「教育」は「共育」へ



学校・家庭・地域が連携し「生きる力」を育む教育を。**あらゆる世代に居場所と出番のあるまち**をつくります。

30%

コミュニティ・スクールの導入・拡大を提案。「共育」への取り組みは、これからが本番です。

隠れ教育費にメス！教育の無償化を



副教材費・制服代などの隠れ教育費。**家計の負担軽減**だけでなく、**子どもの学ぶ権利**を保障するため、**無償化**を推進します。

30%

PTAを「第2の財布」にしない！学校運営に**本当に必要なものは公費で支える**仕組みと、保護者負担の見える化を求めました。

先生が安心して働ける学校へ



先生の労働環境は子どもたちの学習環境です。教員の処遇改善と働き方改革を進め、先生が子どもたちに向き合える学校をつくります。

20%

教職員の休憩時間や職務内容などの勤務実態を正確に把握することを求めました。先生の元気が子どもたちに還元される学校を目指します。

「いつか子どもを育てたい」を、あきらめなくていいまちへ



自分らしい生き方を選べるまち。そして、子どもを持ちたいと思った人が、仕事や経済的な負担を理由に、その希望をあきらめなくていいまちを目指します。

40

子育てフレンドリーな企業を認証する市独自の制度などを提案し、企業も、地域も、行政も、**みんなが子どもを支える一員になれるまち**へ動き出します。

② 未来にツケを残さない、責任ある市政を

お金のツケを残さない



ごみ焼却炉・市庁舎…大型事業が目白押し。今を生きる市民の**暮らしを守り**ながら、未来の市民にも**選択肢を残せる財政運営**を目指します。

50%

財政悪化の責任は議会にもあります。**事業の必要性と将来負担**をしっかりチェックしています。

環境のツケを残さない



身近な生活環境から地球環境まで、今できる対策を積み重ね、**未来世代によりよい環境**を引き継ぎます。

10%

「香害」を生活環境の問題として学び始めました。誰もが安心して空気を吸えるまちを目指します。

災害のリスクを先送りしない



いつ起きるのか予測できない災害。フェーズフリーの発想で**「いつも」が「もしも」**に強いまちをつくります。

50%

地域の救命体制強化を目指し、学校AEDを屋外に設置するよう提案しました。

分断や生きづらさを残さない



違いを認め合い、誰もが「ここにいていい」と思えるまち。人も動物も共に暮らせるまち。そんな**共生のまち**を目指します。

40%

防犯灯に関する町会・自治会の過度な負担を例に挙げ、**地域と行政との適切な役割分担**を提案しました。

③ 市民とともにつくる、対話の市政を

議会をもっと身近に



情報が届かなければ、関心も生まれません。**SNS発信**と**「まちのおしゃべり会」**で、政治をもっと身近にします。

60%

暮らしとのつながりが見える発信と対話を続け、政治を**「知る・考える・話す」きっかけ**をつくっています。

委員会もインターネット中継を



市民の暮らしに直結する議論をインターネットで。**開かれた議会**を目指します。

10%

一般市民の頃に2度、陳情を提出するも不採択。**今度は中から実現**を目指します。

市民の声が届く議会へ



市民が声を届け、議論に参加できる仕組みをつくります。子ども・若者議会など、**市民の声が市政につながる**議会へ。

30%

保護者や子どもたちの**陳情・請願をサポート**した経験を生かし、届けられた声と議会での扱いが見える議会を目指します。

生活者の視点を大切に
皆さまとの対話から
まちの課題に取り組みます！



※一部の挿絵に生成AIを使用しています